— vol.45 —
2022年9月25日発行

さざなみ鶴見

馮 久冬（ひょう きゅうとう）

さざなみ

妻子を伴い、中国の山東省から日本にやってきた馮久冬は、さざなみ鶴見の介護職員。中国で2か月、日本で3か月、日本語を懸命に学んだ甲斐あって、片言ながらもしっかりとした口調で同僚や利用者様の方との交流を楽しんでいる。有限会社さざなみとの出会い、日々の仕事で感じていること、今後の目標について話してもらった。

通勤時間の短縮を求めて「さざなみ」へ

来日のきっかけは、結婚後の生活を安定させるためだったという馮。当初は東大阪市内にある他のデイサービスで働いていたが、引っ越しをきっかけに、もっと近場で働ける職場を求めて転職を考えるようになった。介護職は忙しいため、通勤時間は少しでも短いほうがありがたい。

思い切って転職に踏み切ったのは、結果として大正解だった。さざなみ鶴見と自宅の距離は、自転車で15分ほど。心身ともに余裕が生まれ、馮は働く喜びと日本文化の面白さを知ることになる。

ひたむきさが評価され、職場の人気者に

「やってみたい」というシンプルな気持ち。それが、馮が介護職を選んだ理由である。元々興味を抱いていた分野でもあり、お年寄りとのコミュニケーションはとても楽しいという。

「日本語は、勉強すればするほど難しい」というが、日々の仕事を通して少しずつ上達し、語彙も着実に増えてきた。そんな馮の姿を、周囲も暖かく見守っている。

たとえば、利用者様の方からかけられる、「お兄ちゃん、優しいなぁ」「かっこいいね」といった何気ない言葉。短くありふれたフレーズだが、馮はそれらを最高の称賛だと感じている。きちんと評価してくれる人がいる。愛されている。その自信に後押しされるように、仕事への情熱はどんどん高まっていった。

相手を思いやる「言葉がけ」を忘れずに

利用者様の方々と接するとき、常に気を配るようにしていることがある。それは、こまめに声をかけることだ。移動のとき、食事のとき、トイレに行くとき、おむつ交換のとき、お風呂のとき、そして寝るとき。介護職員であるからには、どんなときも気は抜けない。お年寄りの視線や身体のわずかな動きを見逃さず、サポートの言葉をかけている。

「よろしいですか?」「いかがですか?」「大丈夫ですか?」

簡単なようでいて、意外と難しい。相手が何を求めているのかを瞬時に察し、適切な声がけをするのは、異文化で育った馮にはなかなか難易度が高いのだ。

困ったときは、ほかのスタッフを頼って

介護サービスの利用者様は、身体が思うように動かせずに辛い思いを抱えている。ふとした弾みにバランスを崩し、取り返しのつかないケガにつながる恐れもある。そのため、介護職員は危険が及ばないよう、常に目を光らせているのだ。もちろん馮も、危機感をもって臨んでいるが、「自分だけでは難しい」と感じたときはすぐ周囲に伝え、助けを求めるようにしている。独りよがりで動くほうが、むしろ危ない。利用者様の方の安全を思えば、頼ることが最良の選択なのだ。

日本の春節「お正月」の楽しみ

言葉はもちろん、日本のしきたりや生活習慣にも、わからないことがまだ多い。だが、日本に来て初めて知り、感銘を受けたこともある。たとえば、利用者様の方々の誕生日を祝う会や、日本特有の祭りや年中行事。

「とくにお正月は一番の楽しみ。利用者様の方々みんなと歌を歌ったり、一緒にテレビを観たり、おいしいおせち料理を食べる。ほっとする時間です」。

一方で、普段の休日は家族と過ごしてリフレッシュする。旅行をしたり、おいしいものを食べに出かけたりするのも楽しい。今はコロナ禍でもあり、また仕事が忙しく、あまり遠出はできないが、以前は京都で金閣寺を参拝し、日本の伝統文化に触れる貴重な時間を過ごしたという。

いつも笑顔で、志を高く持って

「何でもできる人になりたい」。

それが今の目標だ。介護は命を預かる世界。いつ何が起きるかわからないので、緊急事態になっても慌てることなく、自分1人でも対応できるようにならなくてはと考えている。

自身の仕事に誇りと喜びを見出し、介護スタッフとしてできることを増やしていきたいと語る馮。その笑顔で周囲の心を癒やしながら、これからもさざなみに貢献してくれることだろう。

巻頭インタビュー

必見！「馮久冬」さんへのメッセージ

巻頭インタビューに登場いただいた馮さん。普段はどのような方なのでしょか……？
馮さんと関わりのある2名の方に話を伺い、その素顔に迫ります！

さざなみ鶴見
今川 清美（いまがわ きよみ）さん

第一印象は？

初めて会った時は、同じフロア担当ではなく休憩時間の時で、背の高い大きい人やなぁ……と思いました。外国出身の方と知り、コミュニケーションはとれるのかな？と思い話してみると、笑顔が優しく日本語が上手でビックリしました。

馮さんにまつわるエピソード

すごく手先が器用で、夜勤のときに紙を使い手作りの薔薇の花束を作ってフロア内のテーブルを華やかにしてくださいました。朝、飾られている花束を見て利用者様も「綺麗」と話しながら笑顔になっています。

馮さんへのメッセージ

笑うと少年のような笑顔の馮くん！その笑顔を絶やさず楽しく頑張ってください。

さざなみ鶴見
鈴木 ひろみ（すずき）さん

第一印象は？

最初は言葉の壁があるかなと思いましたが、流暢に話され、仕事も慣れているので、何でも教えていただいています。

馮さんにまつわるエピソード

利用者様に、「春」という感じをハサミで切って作ってあげており、その器用さに驚きました。

馮さんへのメッセージ

至らないところが多々ありますが、これからもご指導の程よろしくお願いいたします。

中秋の名月

利用者様と貼り絵を実施しました！

9月は何と言っても月が綺麗ですよね！
皆さんも今日の夜、空を見上げてみてはいかがですか？

さざなみ壱番館で貼り絵を実施しました！

完成！

中秋の名月とは？名前の意味はコレだった！

旧暦の8月15日にお月見をする日本の風習を指します。
旧暦では7月から9月を秋としており、そのちょうど真ん中の8月15日を中秋としています。その晩に上がる月を「中秋の月」と呼んでいたのが、中秋の名月の由来の始まりです。
秋の初め頃、今でいう夏は台風や雨の多い時期ですが、秋が深まり空気が冷たくなる頃には秋晴れが続き、空も高く見えます。夜に見える月もきれいなことから、この頃に上がる満月を「中秋の名月」と呼ぶようになりました。

中秋の名月と十五夜は同じもの？

中秋の名月に似た言葉に、十五夜があります。実は、中秋の名月と十五夜は同じもので、十五夜と呼ばれるのは旧暦の8月15日だったためです。旧暦では毎月1日が新月で、15日が満月もしくはほぼ満月でした。新暦と異なり、1ヵ月は月の満ち欠けの周期に合わせて29日ないし30日で計算されており、3日には三日月、15日には満月を毎月見ることができたそうです！

今月も直近で
実施された
各事業所の様子を
お届けします！
皆さんの弾ける
笑顔素敵ですね！

利用者様の様子を お届けします！

皆さんおめでとうございます♪
素敵な一年になりますように！

お誕生日会を 実施しました！

Happy Birthday

たこやきパーティ♪

美味しそうですね！

花火を実施！

夏の終わりに 花火も素敵ですね！

暑さが厳しい夏も終わり、
過ごしやすい1日になってきました！
寒暖差で体調を崩されないよう、
皆さんご注意ください！

一度は見てみたい！

絶景の紅葉スポット

箕面市

明治の森 箕面国定公園

見頃：11月中旬～12月上旬

住所：
大阪府箕面市箕面公園1−18

関西随一の紅葉の名所として知られる公園。特に、「日本の滝百選」「日本百景」に選ばれた箕面大滝の近くではイロハモミジやヤマモミジなどの紅い葉と滝の真っ白い水しぶきのコントラストが魅力です。滝道沿いには名物の「もみじの天ぷら」を販売するお土産屋さんや、箕面市北部の止々呂美地域で栽培される希少な実生（みしょう）ゆずを味わえるお店もあります。例年11月中旬～12月初旬が見頃ですが、天候や気温によって変動するため、紅葉状況をチェックしてから訪れることがおすすめです。

吹田市

万博記念公園

見頃：11月上旬～下旬

住所：
大阪府吹田市千里万博公園

1970年に千里丘陵で開催された日本万国博覧会の跡地に広がる総合公園。樹木の種類や本数が多く、日本庭園と自然文化園をあわせて約20種・10000本が紅葉します。黄金色に輝きヨーロッパの街並みを彷彿とさせる西大路のプラタナスの並木道、もみじの滝周辺のカエデ類、紅葉の時期に合わせて特別公開される茶室「汎庵」と「万里庵」の風情はまさにしみじみとする趣があります。11月には日本庭園・自然文化園「紅葉渓」で「万博記念公園　紅葉まつり」が開催されるので、要チェックです。

豊中市

服部緑地

見頃：10月下旬～11月中旬

住所：大阪府豊中市寺内1-13-2

「日本の歴史公園100選」にも選ばれた、府下最大級の緑地公園（なんと面積は甲子園球場の約33倍！）。毎年10月下旬～11月中旬が紅葉の見頃で、とりわけ第3駐車場北に位置する100本以上の艶やかなケヤキは、息を呑むこと間違いありません。園内には「服部緑地都市緑化植物園」もあるため、紅葉と一緒に秋の草花も楽しむことができます。最寄りの「緑地公園駅」からのアクセスもよく、地元の方のみならず府内外からの観光客で賑わうスポットです。

真言宗仁和寺の末寺で、ご本尊の「木造聖如意輪観世音菩薩坐像」は国の重要文化財に指定されています。お寺は山岳部に囲まれ、阿武山と向かい合っているので美しい紅葉を楽しむことができます。常緑の植物も多いので、赤と緑の対比が素晴らしいと話題です。あまり人通りが多くないエリアにあるので、ゆっくりと散策して秋を満喫したい方にピッタリです。階段や道路脇には瓦が並べられていることも多く、和の趣が漂っています。

茨木市

大門寺

見頃：11月下旬～12月上旬

住所：
大阪府茨木市大字大門寺97

池田市

久安寺

見頃：11月中旬～下旬

住所：
大阪府池田市伏尾町697 久安寺

725年、東大寺の建立にも携わった行基が開き、弘法大師も滞在して真言密教道場として栄えた「安養院」が前身。1145年に近衛天皇の勅願寺として「久安寺」と改称され、安土桃山時代には豊臣秀吉が参拝したことで知られています。庭園「虚空園」を彩る紅葉は、一生に一度は見たい絶景。11月中旬に開催されるもみじまつりと祈祷会（拝観料300円）、11月下旬のもみじ茶会（要予約、拝観料含め3800円）にも足を運んでみてください。

入居者様紹介

施設の入居者様にこれまでの人生について教えていただきました！

プロフィール

昭和23年生まれの74歳です。
出身は香川県高松市で、小学校の頃に岡山県宇野市へ引っ越しました。

ご家族について

両親と兄・弟・妹の4人兄弟です。母親は幼い頃に他界しましたが、父親は大工をやっていました。兄弟とは、海や山で泳いだりした思い出があります。

さざなみ大池橋
かとうみやこ
加藤 都さん

学生時代

中学生の頃に水泳部に入り、部活動に励んでいました。

社会人時代

尼崎の縫製工場に就職しました。22歳の頃、主人と出会い、しばらくは仕事仲間でしたが、お付き合いを始めてからは結婚までは早かったように思います。

今後の人生の目標

長女の近所で生活をすることです！

さざなみスタッフへメッセージ

今まで皆さんと仲良く生活していたため、お手伝いできることはやりたいと思っています！

プロフィール

昭和16年生まれの81歳です。出身は福岡県です。

幼少期のエピソード

幼少期は川遊び、鬼ごっこ、メンコ、かけっこをして遊んでいました。
家族でたくさん出かけ、キャンプには何度も行った思い出があります。

学生時代と社会人時代

とにかく足が速く、かけっこの順位はいつも1位でした。先生に褒められることが嬉しく感じていました。中学・高校はラグビーに熱中。ラグビーの体当たりは痛いですが、そこが醍醐味だと思います。

社会人時代

設備設計の仕事をしていました。難しい仕事でしたが、やりがいを感じていました。結婚は昭和36年です。社内で出会った方と結婚をしました。

さざなみ松屋町
さかいとしみつ
酒井 利光さん